

平成23年9月22日

都内私立中学校高等学校
校 長
社会科担当教諭
防災担当教諭 殿
関係教職員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 清水 哲雄
文系教科研究会委員長 橋本 恵正
(共催：公益財団法人 東京都私学財団)

文系教科研究会（社会）「地理見学会」のご案内

—首都圏外郭放水路の見学—

秋分の候、先生方にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度の地理見学会のご案内を申し上げます。今回は、「首都圏外郭放水路」の見学を企画しました。首都圏外郭放水路は、春日部市域の国道16号線の地下約50mに建設された総延長約6.3kmの地下放水路です。関東平野中央部を流れる中川・倉松川など中小5河川の洪水を地下に取り込み、地下水路で江戸川に放水する世界最大級の洪水防止施設です。施設は、洪水を取り込む直径30mの5本の立坑、直径10m・延長約6.3kmの地下トンネル、重量500tの柱が59本もそびえるマンモス調圧水槽（別称、地下宮殿）、毎秒200tの排水機施設などから成り立っています。洪水に強い都市づくりに寄与し、首都・東京の安全を支える重要な施設で、国土交通省江戸川河川事務所が管理しています。

地理教科としては、従来から災害、防災、環境、環境保全等も重要な学習課題としてきましたが、平成25年度から完全実施される高等学校新学習指導要領では「防災」の視点が導入されます。このような防災施設の見学を通して、防災教育のあり方についてより具体的に理解を深めていきたいと考えています。また、教科を問わず広く首都圏全域の治水・利水・防災についての考察を深められればと考えています。今回は日曜・祝日等の見学が不可能なため、平日の午後のみの見学会となり、さまざまな見学の制約もあります。また、大変お忙しい時期だとは思いますが、皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成23年12月19日（月）午後2時15分～午後5時 <往復送迎バス利用>
集合：東武伊勢崎線・野田線 春日部駅東口 午後2時15分（時間厳守）
解散：東武伊勢崎線・野田線 春日部駅東口 午後5時00分（予定）
2. 内 容 首都圏外郭放水路、及び龍Q館の見学
埼玉県春日部市上金崎720（電話048-746-0748）

3. 募集定員 35名 (但し、最低催行人数26名に満たない場合は中止となります)

4. 参加費用 無料 (春日部駅までの往復運賃は各自負担)

※中高協会会員各校の拠出金と、東京都私学財団からの補助金によって運営されております。

5. 申込方法 11月17日(木)までに、Web、Fax、又は郵送にてお申し込み下さい。

〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4階

東京私学教育研究所 文系教科研究会(社会) 担当：毛利、松田

TEL 03 (3263) 0544 FAX 03 (3263) 0560

URL <http://k.tokyoshigaku.com>

6. 実施条件 参加人数及び施設見学上の制約があり、中止となる場合がございます。

①締切日時点で、最低催行人数26名に満たない場合。

(この場合、約1ヶ月前にご連絡します)

②当日、大雨等により放水路施設が稼働している場合。

(この場合、当日の朝9時に決定されますので、当日午前中にご連絡します)

7. 注意事項

- ・調圧水槽の見学では、116段の階段を徒歩で上り下りします。
- ・履き物は、運動靴をお勧めします。調圧水槽内の床は、滑りやすく網状のところもあり、滑りやすい靴やハイヒール・サンダル等では見学できません。また、汚れてもよい服装で参加して下さい。
- ・調圧水槽内には大きなカバン等は持ち込めません。
- ・見学中は必ず係員の指示に従って行動して下さい。

8. 運営委員 横山 満 (東星学園中学校・高等学校)

庄田 正宏 (巣鴨中学高等学校)

文系教科研究会 (社会)「地理見学会」参加申込書

平成23年12月19日 (月) 実施

学 校 名	氏 名

東京私学教育研究所 御中

平成23年 月 日

校長

Ⓜ

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略致します。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)

申込確認が必要な方は、下記にご記入下さい。後日、申込書受理書をFAXでお送りします

・希望する

理由等

FAX番号: